

私たちの住む地域を考えよう

より良い環境を求めて、地域の再発見をしよう

季節：通年 時間：2～4時間

学習のまとめとして自分たちが住む地域を見直し、より良い環境づくりを考える。

目前の短期間だけでなく、来るべき未来にも目を向けて持続可能な環境づくりへの取り組み方について考える。

進め方

準備と注意事項

- ・用意するもの：地域の地図（縮尺や種類は任意）メモ用紙、筆記用具、カメラ（できればデジタルカメラ）動きやすい服装
- ・注意事項：私有地への立ち入りや人物の撮影などでは、あらかじめ許可を得る。インタビューのマナーについて確認しておく。取材のテーマや聞きたいことをまとめてから出かける。

1. 学級やグループで、取材する地域や範囲、ポイントや歩くコースなどを検討しよう。
2. 取材しながら「残したいもの」や「改善していきたいもの」などについてメモをとろう。できるだけ写真も撮っておこう。
3. 帰校後に取材した内容をまとめ、発表しあおう。

進め方

準備と注意事項

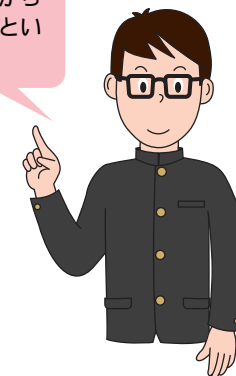
- ・用意するもの：下書き用更紙、清書用ケント紙、筆記用具、彩色用具（絵の具や色鉛筆、ポスターカラーなど）、カメラ（できればデジタルカメラ）、パソコン、カラープリンター、ラミネート加工器具
- ・注意事項：美術や技術、総合的な学習の時間と連携して行うとよい。カラープリンターの代わりにカラーコピーを代用するなど、機械類は身近にあるものを活用する。

1. 呼びかけたい内容を考えよう。

例：「ポイ捨てはやめよう」
 「ゴミの分別推進」
 「省エネルギー」
 「夜は静かにしよう」
 「一人で車に乗るのは控えよう」
 「この景観を大切にしましょう」

2. 用紙に下書きし、彩色しよう。
3. デジタルカメラで撮影し、パソコンでプリントアウトしよう。（カラープリンターを使う方がよい）
4. ラミネート加工し、周囲を切りそろえて出来上がり。

身近なことから考えていくといいね。



進め方

準備と注意事項

- ・用意するもの：地域で撮影してきた写真、パソコン、カラープリンター、地域の地図（縮尺、種類は任意）
- ・注意事項：写真はデジタル画像がよい。プリント画像の場合はスキャナーで読み込むか、ネガをCDに焼きこんでもらうことでデジタルデータ化しておく。また、地図は大きなものがよいので、拡大コピーするか、模造紙等で作っておくとよい。

1. パソコン、地図を用意しよう。（地図は2枚でもよい。その場合は、後記4の地図を2種類に分けて作るとよい）
2. 画像処理ソフトウェアを立ち上げ、撮影してきた写真を引き出そう。
3. 改善したい光景や大切にしたい風景などをプリントアウトしよう。また、散らかったゴミなどのように画面から消したいものを画面上から消したりしてプリントアウトしよう。イラスト（デッサン）で行う方法もあります。
4. 用意した地図に、「残したいもの」「改善したいもの」など、気のついた風景や光景をプリントアウトした写真や作成したイラストをはらう。
5. できあがった地図を見て、これからの私たちにできることを考えあったり、話し合ったりしよう。

ワーク

1 地域を歩いて見つけよう

残したいもの、変えていきたいものの再発見


資料

資料1 取材メモの例

地点番号	3
分類	残したい <u>改善したい</u> その他
内容	ゴミ集積所。収集日ではないのにゴミが出ている。

地点番号	
分類	残したい 改善したい その他
内容	

資料2 写真資料用紙の例

地点番号	4
分類	<u>残したい</u> 改善したい その他
コメント	地域の ^{とくちょう} 特徴をデザインしたマンホールのふた
写真	

資料3 取材メモの例

地点番号	
何について	
情報提供者	
内容	

地点番号	5
何について	中海のようす
情報提供者	さん
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の中海では、「そりこ舟」という木造の船で赤貝採りが盛んに行われていた。 ・昔はみんな泳いでいたが、最近では水も汚れて泳げない。漁獲^{ぎよかく}高も減ってきている。 ・以前は松江大橋や本庄から大根島^{だいこんしま}への連絡船が通っており、船着場もあった。

資料4 取材用地図と取材地点番号の記入例



(地図作例：松江市の大橋川中海河口付近)

ワーク

2 環境保護マークを作ろう

一人ひとりが考える未来への提言を、デザインに

地域調査や家庭での生活などを通して感じたり考えたりしたことから、家庭や学校、公民館や地域などで使うことができるようにした、環境に対する意識を高めることを呼びかけるマークを作ろう。

呼びかけたい内容を考える

例：「ポイ捨て禁止」「ゴミの分別推進」「省エネルギー」「夜は静かに」「一人で車に乗るのは控えよう」「この景観を大切にしましょう」
作成したマークを呼びかけたい場所に張って、みんなで意識を高めていこう。

資料

資料5 環境に対する意識を高めるためのマーク例

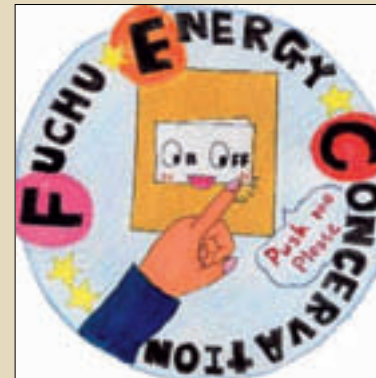
地球温暖化防止ロゴマーク
(JCCA)



生徒作品
(島大附中 佐藤文香さん)



生徒作品
(島大附中 植屋彩香さん)



生徒作品
(島大附中 城代愛里さん)



資料6 マーク作成者に聞きました



生徒作品 作者
島根大学附属中学校3年
佐藤文香さん

このマークは、一目見て「省エネをしよう」と思ってもらえるように考えて描きました。私の学校では、環境に関するたくさんの取り組みを行っています。そのこともあり、私も日ごろ電気や水の節約をしています。松江はタヌキが家の周りでも見られるなど自然が身近にあり、空気もきれいで良い所だと思います。便利な暮らしと今の環境を両立させて、これからも多くの人に好かれる松江であってほしいと思います。

このマークは、節水を呼びかけるためのものです。電気などと違い、水はあまり消費しているという感覚がつかめず、ついむだにしていまいがちではないでしょうか。松江は水の都として有名ですが、宍道湖の水質汚染が進んでいたり、山に関しても不法投棄があったりと、環境意識の低さのために少しずつ大切な自然が失われつつあります。このようなことをなくし、松江や島根の風景を美しいまま未来へ伝えていけたら良いと思っています。



生徒作品 作者
島根大学附属中学校3年
城代愛里さん

ワーク

3 こんな町にしていこう ～われらは町を「良くし隊」～

自分たちが住んでいる地域を調べた結果をまとめて、何を大切にしたり、何を变えたり改善していかなければならないのか考え、これからあるべき環境として提言したいことがらを地図にはったり記入したりしよう。

資料

資料7 大切にしていきたいものの例

すみえ 墨絵のような冬の松江城（松江市）



しゃめん たなだ よしか 斜面に広がる棚田（吉賀町）



じょうどがうら おきしま 美しい浄土ヶ浦（隠岐の島町）



いずも ついじまつ ひかわ 出雲平野の築地松（斐川町）



昔ながらの面影を残す通りや、軒下でイカを天日干しする光景（松江市）

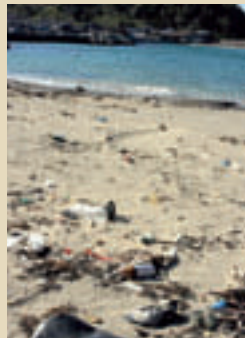


資料8 改善していきたいものの例

陸橋の橋脚に書かれた落書き



浜辺に捨てられたゴミ



画像処理ソフトウェアを用いてゴミ集積所にある買い物袋を消してみよう。

画像処理ソフトにある「スタンプ機能」を利用した例



元画像



修正画像

自分が考える、よりよい町並みをデッサンで表してみよう。



元になる写真



デッサンによって表した町並み

私たちの住んでいる地域の実態を踏まえて、話し合いをしてみよう。

話し合いのテーマ例

「未来に向けて、私たちは何を大切に、何を改善したり変えたりしなければならないのでしょうか。」

話し合いを深めるための視点例

- ・観光客の立場とそこに住んでいる人の立場の違い
- ・個人でできることと、行政などの援助が必要なもの
- ・年配の方々の意見と、若者の意見
- ・後世に伝え残したいが、その維持管理にかかる費用などの問題がある地域

参 考

<写真・図>

- ・島根県庁HP (<http://www.pref.shimane.jp/>)
 - ・島根環境ナビHP (<http://www.pref.shimane.jp/section/kankyo/>)
 - ・柿木村HP役場 (<http://www.vill.kakinoki.shimane.jp/>)
 - ・斐川町HP役場 (<http://www.town.hikawa.shimane.jp/>)
 - ・斐川町環境学習センターHP (<http://www.town.hikawa.shimane.jp/>)
 - ・地球温暖化防止活動推進センターHP (<http://www.jccca.org>)
 - ・島根大学附属中学校 省エネルギー教育 研究実践報告
- 出典の記載していない写真は、筆者撮影による。

理想の我が町



こんな光景は、
未来に残して
いきたいね。

残したいって言っても、
そこに住んでいる人にと
ってはそうもいかない
事情があったりする
ね。そこが問題だ…。

大切にしていきたい
ものって色々あるけど、
全部残すことも
難しいな。みんな
でよく話し合うことが
大切だな…。

そうね。見ていると、
何だかほっとするわね。

みんなが身のまわりの
色々なことがらに対
して、知らない顔を
しないことが大事だね。

こんな風景を見ていると、
何だか心が落ち着くね。

こんな故郷ってちょっと
いいんじゃない？これな
ら将来も帰って来たく
なるんじゃないかなあ。

みんなが身のまわりの
環境に関心を持つこと
が一番大切なんだね。

でも、こんなところ
は改善していか
なくては行けない
と思うな。